



## 7/20 埼玉県との 第1回定期協議

### 2022年度埼玉県予算編成ならびに 行政執行に関する要望を提出

はじめに、埼玉県消費生活課課長若松孝治さんよりごあいさついただき、埼玉県からは2020年度生協指導検査実施状況の要点について報告がありました。埼玉県生協連からは、2022年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望について説明し、会員生協からの報告、質疑応答などおこない、懇談しました。



## 7/25 第36回 埼玉県 原爆死没者慰霊式

### 今年も式典をライブ配信しました

さいたま共済会館(さいたま市浦和区)で慰霊式を開催、被爆者やご遺族、来賓、実行委員会団体代表者など83人が参加しました。式典では、埼玉県内の原爆死没者名簿の奉納、しらすぎ会原明憲会長による慰霊のことば、来賓あいさつ(埼玉県、さいたま市、各党代表、国会議員)、広島市長・長崎市長のメッセージ紹介、浦和高校の生徒による平和の誓い、被爆の証言の朗読、献花・折り鶴奉納と進み、最後に「原爆を許すまじ」を会場に流し、終了しました。

## 9/2 埼玉消費者被害をなくす会 消費者力アップ学習会Vol.1

### 「ネット広告、ここに注意! ~アフィリエイト、SNS、アプリ、動画広告のトラブル事例と対応策~」をテーマに開催

笠井北斗氏(一般社団法人日本アフィリエイト協議会代表理事)を講師に迎え学習会を開催、全国各地から49人が参加しました。広告や動画を見せていただきながら、広告の見方、広告を見る際の注意点についてお話しいただきました。参加者からは「アフィリエイト広告を含めたインターネット広告の基礎知識を初めて知ることができた」「トラブルにならないための広告を見る時のチェックポイントを知ることができてよかった」などの感想が寄せられました。

## 9/14 第57回 埼玉県消費者大会プレ学習会

### 「防災・減災 ~埼玉県の施策を学ぶ~」をテーマに学習しました

埼玉会館7A会議室13人およびZoomによるオンライン28人、計41人の参加で開催しました。埼玉県危機管理防災部災害対策課主幹の田口敬之さんを講師に、埼玉県の災害体制や近年の主な災害対応などについて説明いただきました。地域災害計画では、自助・共助による防災力の向上や多様な視点での対策が大切であること、県の災害体制では、応急対応力の強化や協定締結団体・事業者との協力、災害情報発信の強化などについてお話しいただきました。参加者からは、県の具体的な対策や対応を知ることができてよかった、さらに市町村の対策について調べたい、我が家のタイムラインを家族と話したいなどの感想が寄せられました。



# 写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2021 秋号 No.79

(2021年10月発行)

## Top News

### 8/24 埼玉県委託事業 県内消費者団体全体研修会 「感染症の正しい知識とその予防策」をテーマに オンラインで学習しました



正しい知識を得たことで、不安から解放され、気持ちが軽くなったなどの感想が寄せられました



感染症の専門家 岩崎恵美子さん

緊急事態宣言中のため、開催方法を変更し、消費者団体研修会としては、初めて完全オンラインで開催し、14団体72人が参加しました。医師で感染症の専門家、岩崎恵美子さんに、世界各地での地域医療の実践、厚生省検疫所所長や仙台市副市長としての健康危機管理など、多様な実践を踏まえ、感染症の特徴、インフルエンザと新型コロナウイルス、新型コロナウイルスを防ぐための手洗い・マスク・ワクチンの効用、そして日頃からの健康や食、生活習慣の大切さなど、わかりやすくお話しいただきました。「未知の感染症への恐れあまり、通常の生活ができなくなっているが、大切なのは手洗いなど基本的なことだとわかった」「情報が恣意的に流されていることへの驚きの一方で、メディアの情報をうのみにせず、冷静に正しく判断することが大切だとわかった」などの感想が寄せられました。

## 9/18 4都県生協連共催 ジェンダー学習会 「ダブルハピネス ~隣にいるかもしれないLGBTQ~」を開催



左:講師の杉山文野さん

1都3県(千葉、東京、神奈川、埼玉)の生協連共催によるジェンダー学習会を開催し、Zoom参加60人、YouTube視聴(アーカイブ視聴含む)155人計215人が参加しました。開催にあたり、埼玉県から後援いただきました。SDGsの目標にも掲げられている「ジェンダー」に関連する様々な問題についての理解を深め、暮らしの中で課題解決のヒントを見つけることを目的として、NPO法人東京レインボープライド共同代表理事 すぎやまふみのさんに講演いただきました。講演後の質疑応答、ブレイクアウトルームを活用したグループ交流を通して、参加者からは、「当事者である杉山さんの言葉が心に響き、誰もが公平にスタートラインにつけ、当り前のことが普通にできる、選択できる世界にしたいと思った」などの感想が寄せられました。多様性について考え合い、誰もがその人らしく生きられる社会のために何ができるか一緒に考える機会となりました。



# 会員生協の取り組み

# 広がる県内生協の多彩な活動

## 生活協同組合コープみらい



### 埼玉県「さいたま緑のトラスト基金」「彩の国みどりの基金」に 合計30万円を寄付



右から、埼玉県小池要子環境部長  
コープみらい財団永井伸二郎理事長、コープみらい富沢雅子組合員理事

コープみらい財団は、「さいたま緑のトラスト基金」と「彩の国みどりの基金」に合計30万円を寄付しました。この寄付に対し、7月21日、埼玉県より感謝状をいただきました。

「さいたま緑のトラスト基金」は、県内の自然や貴重な歴史的環境を守るために活用されています(今回の寄付で24回目・総額1,890万円)。「彩の国みどりの基金」は、森林の保全整備や身近な緑の保全・創出を積極的に進め、「みどり豊かな彩の国」を目指すものです(今回の寄付で13回目・総額870万円)。コープみらい財団では今後も、地域や行政、組合員と連携した環境保全の取り組みを進めていきます。



## 医療生協さいたま生活協同組合



### 第4回初夏のクリーンウォーキング まちも心も体もきれいに



南西部地区と川越比企地区の組合員は、6月の終わりに「クリーンウォーキング」を開催しました。健康増進と組合員の交流、いつもお世話になっているまちへの貢献を目的に、医療生協さいたまの事業所(大井協同診療所、あさか虹の歯科、ふじみ野ケアセンター)周辺をゴミ拾いしながら歩く3日間・3コースの企画でした。参加者は、ゴミを拾うマイトングを持参して出発。コロナ自粛の影響なのか、植え込みなどに屋外で飲んだアルコール類の缶が隠すように捨てられていたり、駐車場近くではたくさんのタバコの吸い殻を発見。途中で休憩して水分補給し、草花の写真を撮ったり、組合員同士での会話を楽しんだり、楽しみながらまちなみをきれいにしました。「飲んだら、缶やペットボトルは持ち帰る」と、ごみに対する意識も高まりました。



## 生活協同組合パルシステム埼玉

### 平和活動週間 「ピースウィーク」を開催



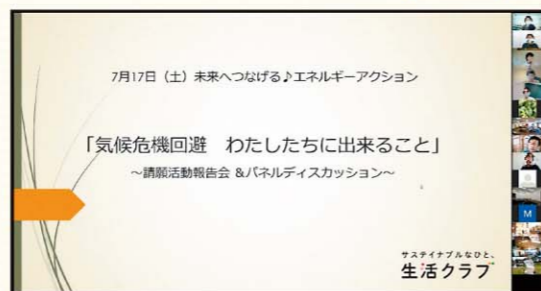
みなさんの平和へのメッセージ

パルシステム埼玉は、戦争のおそろしさと平和の尊さを伝え、学ぶ機会として、7月19日～23日に「ピースウィーク」を開催しました。組合員活動施設「ばる★てらす」(さいたま市浦和区)では丸木美術館の「原爆の図」複製パネルを展示し、平和を考える企画3企画と平和の絵本の読み聞かせなどを行いました。

これからも誰もがお互いを認め合い、安心してらせる社会をつくるために平和への活動を継続していきます。

## 生活クラブ生活協同組合

### 国政、県政、市政へ わたしたちの声を届ける 「未来へつなげる♪ エネルギーアクション」



今年、国がエネルギー基本計画を策定することに合わせ、私たちの住む自治体から国に意見書を出してもらおう、議会に向けた請願活動を行いました。27の議会に請願を提出し19の議会で採択(趣旨採択含む)、15の議会には陳情書を提出しました。

請願活動報告会には、オンラインで65人、3会場で11人、計76人が参加し、組合員から請願提出から採択されるまでの苦労や、紹介議員と意見内容に折り合いがつかず請願を断念した等の報告がされました。また、今後も市民の声を届けていく必要性や、パブリックコメントは個人でも取り組めることを確認しました。

## こくみん共済 coop〈全労済〉

### 交通遺児等への寄附および 横断旗の寄贈



寄贈された横断旗(金井本部長)

埼玉県交通安全対策協議会の交通遺児援護基金に17万8,800円を寄附しました。この取り組みは2016年からスタートし今年で7回目。マイカー共済の新規加入件数に応じて寄附を実施しており、寄附総額は91万5,100円となりました。また、マイカー共済の見積もり件数に応じた横断旗の寄贈に取り組み、埼玉県交通安全対策協議会を通じ埼玉県内の小学校へ7,410本、こくみん共済coop本部を通じ8,162本、合計15,572本の寄贈を行いました。

## 埼玉大学生生活協同組合

### 学生委員会によるTwitter発信 「熱中症予防と対策」



今年度もコロナ禍で、昨年よりは増えていますが、登校が少ない状況です。昨今の温暖化に加え、今年はマスクを着用しての通学を余儀なくされている学生さんに熱中症予防と対策をTwitterで呼び掛けました。7/3～7/28の間で数日に1度、その日の最高気温と熱中症対策や熱中症になってしまった場合の対応などを発信しました。

